

「家庭と区立教育機関との連携による、  
幼児英語活動プログラムの開発」

平成 20 年度『千代田学』事業プロジェクト報告書

大妻女子大学短期大学部英文科

井上 美沙子

守田 美子

池頭 純子

丸山 協子

平成 21 年 3 月

# 目 次

謝辞

目次

0. プロジェクト概要 .....	99
1. 平成 20 年度活動報告 .....	101
1.1 年間英語プログラムの開発 .....	101
1.2 イベントの記録 .....	104
2. 教育機関と家庭の連携による、次世代育成支援 .....	107
2.1 国際的な視野を広げる・世界に目を向ける .....	107
2.2 英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ .....	112
2.3 社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする .....	116
3. 大学と地域の連携による、次世代育成支援 .....	121
3.1 千代田学主催イベント .....	121
3.2 千代田学協賛イベント .....	122
3.3 千代田学後援イベント .....	126
付録 .....	129

## 0 プロジェクト概要

## 0. プロジェクト概要

### 事業目的

家庭と区立教育機関と連携して異文化への理解を促すことにより、現代社会での問題の差別やいじめの抑止策として、また希薄化する家族のきずなを強めるための幼児英語活動プログラム及び教材を作成し、区民の子育てを支援するとともに国際人としての素地を養う環境を整えることに貢献することである。

### 調査・研究の手法

#### 1) 年間英語活動プログラムの開発

平成 18,19 年度に引き続き、今年度も千代田区立お茶の水幼稚園に、年間を通したテーマに基づいて絵本とそれに付随した CD を無償提供し、かつ研究員による年間 6 回のデモ授業を行った。選ばれた教材は、幼稚園で使用されるだけでなく、家庭にも配布され、園児が保護者や幼稚園教諭、また他の園児たちと一緒に英語の本を読んだり、CD を、一回に要する時間は長くはないが、ほぼ毎日聞くことによって、周囲の人々との絆を深めながら、英語の音やリズム、またそれを通して異文化意識を育成させるように依頼した。その効果は年間 2 回の保護者懇談会におけるアンケート結果やフィードバック、年度末に実施する園児全員の個人面談によるアセスメントによって調査した。

#### 2) 一般区民向け講座・講演会等の主催・協賛・後援活動

本プロジェクトでは、子育て支援の一環として、家庭での幼児英語活動を支援するために、内外の知識人による講演や国際的イベントを主催・協賛・後援し、一般区民に無料開放することで、地域社会へ貢献する。具体的には平成 18 年の本プロジェクト発足当時から実施している「千代田学レクチャーシリーズ」を主催する他、大妻女子大学が関わるイベントを協賛することで、これを大妻女子大学の学生や教職員等の関係者のみならず、千代田区民にも参加できるようにしている。また今年度は大妻女子大学人間生活文化研究所の研究プロジェクト「家庭における『異文化意識』育成のための、幼稚園児の保護者を対象とした英語の学び直しプログラム—小学校英語必修化を大学と家庭からサポート」の主催するワークショップや講演会を後援することにより、区民参加への道を開いた。

### 3) 「リソースセンター」の充実

英語活動プログラムで使用した教材等をはじめとする、英語活動のための本・教材・資料等を平成19年度に大妻女子大学英文科内でまとめ、「リソースセンター」と称している。これは元来大学が所蔵していたものに加え、平成19年度に日本私立学校振興・共済事業団よりの助成を受けて追加されたものから構成されている。このリソースセンターを整理してプロジェクトに活用できるようにした。小規模なもののため、現在は特に一般公開等はしていないが、区民等から問い合わせがあれば活用できるようにしたいと考えている。

#### 過去2年間の実績

(平成18年度)

平成18年度に千代田学事業の認可を受けた「家庭と保育施設（幼稚園・保育所）との連携による、幼児英語活動プログラムの開発」では、千代田区立お茶の水幼稚園をモデル施設として、保護者と幼稚園教諭が毎月同じ教材（絵本と付属CD）をほぼ毎日繰り返し園児に聞かせることで、「英語」という母国語と異なる言葉の音やリズムに親しみ、それによって社会性や対人能力の発達を促したり、英語の絵本と一緒に読むことで、保護者との絆を育むことを試みた。同時に、子育て支援の一環として、家庭での英語活動をテーマとした千代田学主催の講演会や、英語に関連するコンサートや演劇公演などの大学行事を区民に公開する事業も行った。

(平成19年度)

引き続き平成19年度の千代田学事業「家庭と幼稚園・小学校との連携による、幼児・低学年児童英語活動プログラムの開発」では、幼稚園と園児保護者からの依頼を受けて試験的に、併設する区立お茶の水小学校1年生にも同様のプログラムを提供した。また期せずして、日本私立学校振興・共済事業団より平成19年度「地域の子育て・ものづくり支援」（知の拠点としての地域貢献支援メニュー群）事業として補助金を受けたので、千代田学に関する幼児対象英語活動に必要な教材や資料等を集めた「リソース・センター」（大妻女子大学英文研究室）の充実を推進することができた。またマレーシアでの国際学会 IMICICON 2008 での研究発表の他、年度末の「千代田さくら茶まつり」での『さくら茶フェスティバル2008』における「千代田学事業報告発表」では、石川雅巳千代田区長にも聞いていただいた。

# 1 平成 20 年度活動報告

# 1. 平成 20 年度活動報告

## 1.1 年間英語プログラムの開発

子供を日本以外の国や言語、文化に興味を持たせるという趣旨から、次の3つのテーマを立て、それを元に6冊の絵本を選択し、モデル教育機関に提供した。

平成 20 年度年間テーマ

1. 国際的な視野を広げる・世界に目を向ける
2. 社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする
3. 英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ

年間テーマの年間配列

選択された絵本6冊は、各2冊ずつ3つの年間テーマに対応するようにした。夏休み前の前半では、主に世界に目を向けるためのテーマ1に重点を置き、園児が慣れてきた夏休み後の後半で、テーマ3に基づく英語独特の音やリズムが体感できるような教材を使用した。また社会の基本ルールやマナーを学ぶ絵本を前後期に各1冊ずつ配した。前期は、あいさつやお礼のフレーズを学習し、後期では社会や共同生活でのルールを守る大切さを学習した。

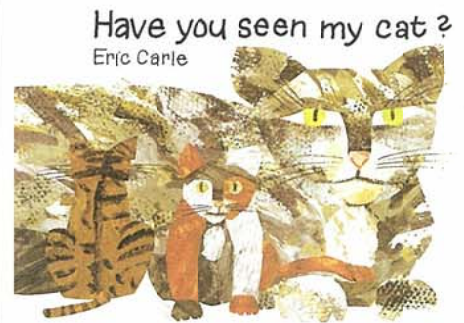
5月	6月	7月		10月	11月	12月
1 国際的視野	1 国際的視野	2 社会ルール	夏休み	3 英語の音	3 英語の音	2 社会ルール

年間英語活動記録

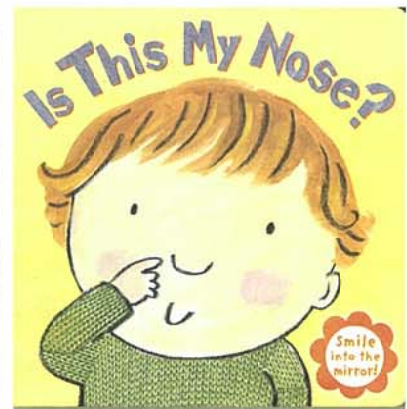
モデル教育機関： 千代田区立お茶の水幼稚園（千代田区 猿楽町 1-1-1）

クラス	園児数	協力家庭園児数
4歳児クラス	10名	10名
5歳児クラス	6名	5名

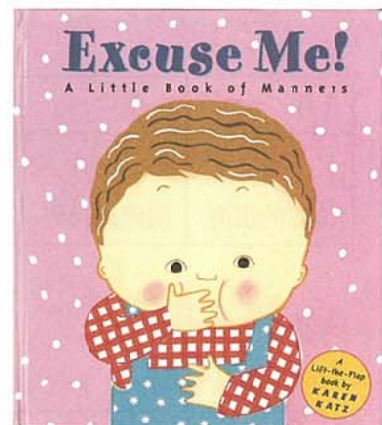
第1回	Eric Carl, <i>Have You Seen My Cat?</i> Aladdin Paperbacks
日時	平成20年5月14日 9:00 - 9:30
テーマ	国際的な視野を広げる・世界に目を向ける
音声教材の有無	無 (オリジナル CD 作成)
使用した補助教材	本の登場人物のオリジナルマグネット作成 世界地図



第2回	<i>Is This My Nose?</i> Random House Children's Books
日時	平成20年6月18日 9:00 - 9:30
テーマ	国際的な視野を広げる・世界に目を向ける
音声教材の有無	無 (オリジナル CD 作成)
使用した補助教材	福笑い形式の オリジナルマグネット作成

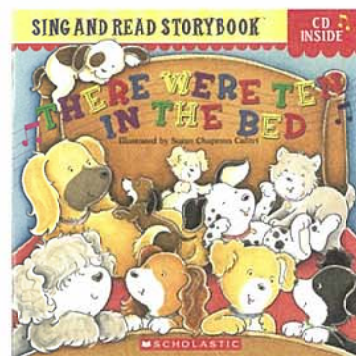


第3回	Karen Katz <i>Excuse Me!</i> Grosset & Dunlap
日時	平成20年7月2日 9:00 - 9:30
テーマ	社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする
音声教材の有無	無 (オリジナル CD 作成)
使用した補助教材	ピクチャーカード作成

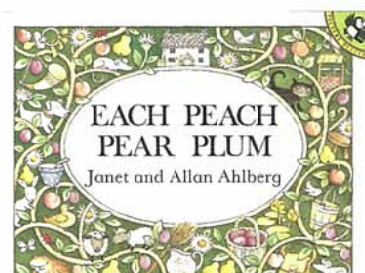




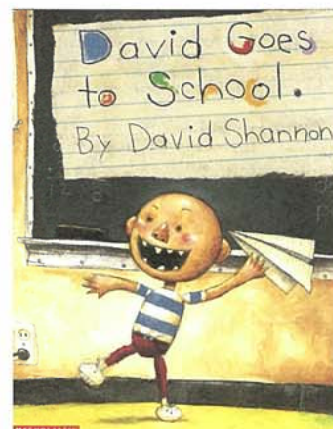
第4回	<i>There were Ten In the Bed</i> Sing and Read Book. Scholastic
日時	平成20年10月22日 9:00 - 9:30
テーマ	英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ
音声教材の有無	無 (オリジナル CD 作成)
使用した補助教材	体操用マット



第5回	Janet and Allan Ahlberg <i>Each Peach Pear Plum</i> Puffin Books
日時	平成20年11月26日 9:00 - 9:30
テーマ	英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ
音声教材の有無	無 (オリジナル CD 作成)
使用した補助教材	本の登場人物のオリジナルマグネット作成



第6回	David Shannon <i>David Goes to School</i> Scholastic
日時	平成20年12月3日 9:00 - 9:30
テーマ	社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする
音声教材の有無	無 (オリジナル CD 作成)
使用した補助教材	主人公のオリジナル紙ぺら人形作成



アセスメント、懇談会の記録

保護者懇談会

第1回 平成20年7月14日 12:50～13:20 於)千代田区立お茶の水幼稚園

第2回 平成21年1月29日 9:00～10:00 於)千代田区立お茶の水幼稚園

児童アセスメント

平成20年1月29日 13:05～13:45 於)千代田区立お茶の水幼稚園

成果発表

研究発表

11/15 「Cultural Awareness (異文化意識) 育成のための幼児英語活動」

国際幼児教育学会第29回大会 開催校: 琉球大学

3/28 「家庭と区立教育機関との連携による幼児英語活動プログラムの開発」

シンポジウム「人間の心・さくら茶の心」

千代田学 豊かな共生社会をめざして!

千代田のさくら祭り さくら茶フェスティバル2009

開催校: 大妻女子大学

## 1.2 イベントの記録

主催イベント

平成20年10月24日

千代田学レクチャーシリーズ V

「日本と英国の子育て比較: 驚きの発見! ここが違います」

講師: グレゴリー与子美 (2002年在英日本国大使館賞受賞)

場所: 大妻女子大学 A棟 150教室

時間: 10:40 - 12:10

協賛イベント

平成20年6月7日

英国大使館・大妻学院共催

英国大使館合唱団コンサート

場所: 大妻講堂

時間: 18:00 開演 (17:30 開場)

平成 20 年 7 月 10 日

ランチタイムコンサート in サマー

大妻女子大学山田流箏曲部・オックスフォード大学合唱団

場所：大妻講堂

時間：12:20 - 12:50

平成 20 年 7 月 11 日

オックスフォード大学合唱団コンサート

場所：大妻講堂

時間：18:00 開演（17:30 開場）

平成 21 年 9 月 17 日

大妻学院 100 周年記念

パイプオルガンコンサート

オルガニスト：ジョナサン・グレゴリー

場所：大妻講堂

時間：18:00 開演（17:30 開場）

平成 20 年 10 月 24 日

大妻女子大学・オックスフォード大学記念シンポジウム

「激動の時代を生きる日英の女性たち」

講師：後藤祥子（日本女子大学学長・名誉教授）

ジュディ・ディアデン

（オックスフォード大学ハートフォードカレッジ EFL ディレクター）

イベット・ディアデン

金谷喜子（大妻女子大学短期大学部教授）

井上美沙子（大妻女子大学短期大学部教授）

場所：大妻女子大学 A 棟 366 教室

時間：17:30 - 19:30

後援イベント

平成 21 年 2 月 14 日

英語で遊ぼう！ 親子で親しむ英語の絵本と歌

大妻女子大学幼児英語活動ワークショップ

講師：フィリッパ・ウッド（英国大使館書記官夫人）

マーガレット・グラント（朝日カルチャーセンター東京 英語講師）

場所：大妻女子大学 A 棟 366 教室

時間：10:30 - 12:30

平成 21 年 3 月 18 日

大妻女子大学人間生活文化研究所プロジェクト

「ことばを生みだす脳の仕組み」

講師：カラリン・パターソン博士（ケンブリッジ大学）

場所：大妻女子大学 A 棟 357 教室

時間：15:30 - 17:00

## 2 教育機関と家庭の連携による、 次世代育成支援

## 2. 教育機関と家庭の連携による、次世代育成支援



この節では、本年度に掲げた3つのテーマに従って、どのようにモデル教育機関での英語活動が行われたかについて述べる。

### 2.1 国際的な視野を広げる・世界に目を向ける

5月、6月に行われた、第1回、2回の英語活動がこの「国際的な視野を広げる・世界に目を向ける」というテーマの下に行われた。指導案は次の通りである。

#### 第1回

テーマ	世界には色々な国や人がいることを理解しましょう。
表現	Have you seen my cat? This is not my cat. Where is my cat?
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる 基本的な挨拶表現 Hello, Good morning, How are you? (歌) Good Morning
	絵本の読み聞かせ <i>Have You Seen My Cat?</i>
	表現練習 (4歳児) my cat, This is not my cat (5歳児) Have you seen my cat?

	Where is my cat?
	異文化理解 世界地図を使ったゲームで、実際にマグネットのネコを探し、さまざまな地域の人々を理解させる。
	(歌) Good Bye 終わりの挨拶

エリック・カールの *Have You Seen My Cat?* は、少年がいなくなったネコを探して色々な人に聞いて歩く物語。それぞれの場所で出会うのはネコではなく、ライオンやチーターなど似ているが違う動物ばかり。また少年が出会う人々もさまざまであり、彼が世界中を旅していることが示唆される。

この絵本を選んだ理由は、さまざまな人々、さまざまなネコ科の動物との出会いを通して、子供たちに実世界にもさまざまな国や文化が存在することを意識させていくきっかけをつくるためである。デモ授業では、オリジナルの世界地図と絵本の登場人物のマグネットを作り、絵本を読み終わった後、園児たちにも世界地図の中でネコ探しをさせるゲームを行い、絵本の世界を実体験させた。

また絵本の CD はオリジナルで作ったが、その中には巻末の作者の言葉も録音した。

There are all kinds of cats, but they all belong to the same family.

And there are all kinds of people, but they are all part of one family.

(世界にはさまざまなネコがいるが、どれも同じネコ科というファミリーに属している。同じように世界にはさまざまな人々がいるが、みんなひとつのファミリーの一員である。)

## 第2回

テーマ	人、動物の顔の部位の名前を覚えましょう。
表現	Can you find your eyes? Yes, you can. eye(s), nose, ear(s), mouth, chin
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる 基本的な挨拶表現の復習 (歌) Good Morning
	絵本の読み聞かせ

	<i>Is This My Nose?</i>
	表現練習 (4歳児) my nose, Is this my nose? (5歳児) Can you find your eyes? Yes, I (you) can.
	異文化理解 男の子と女の子の福笑いをつくり、マグネットでできた顔のパーツを使って顔をつくるゲームをする。
	(歌) Good Bye 終わりの挨拶

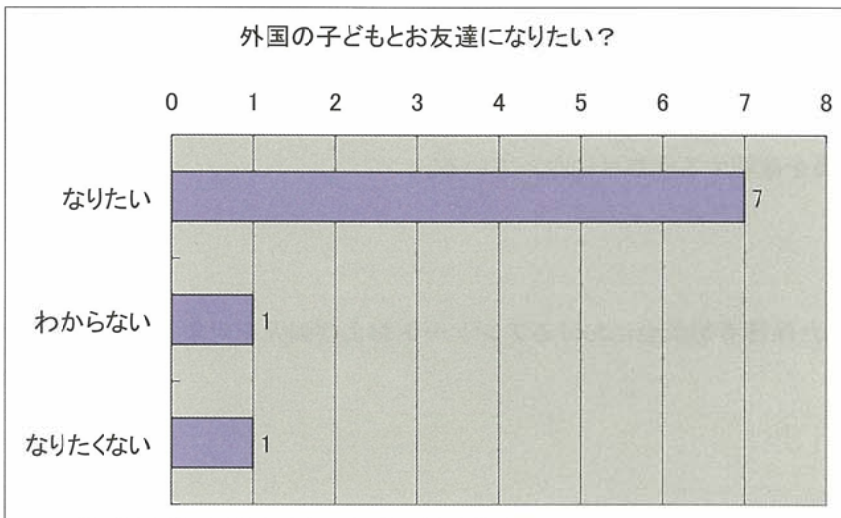
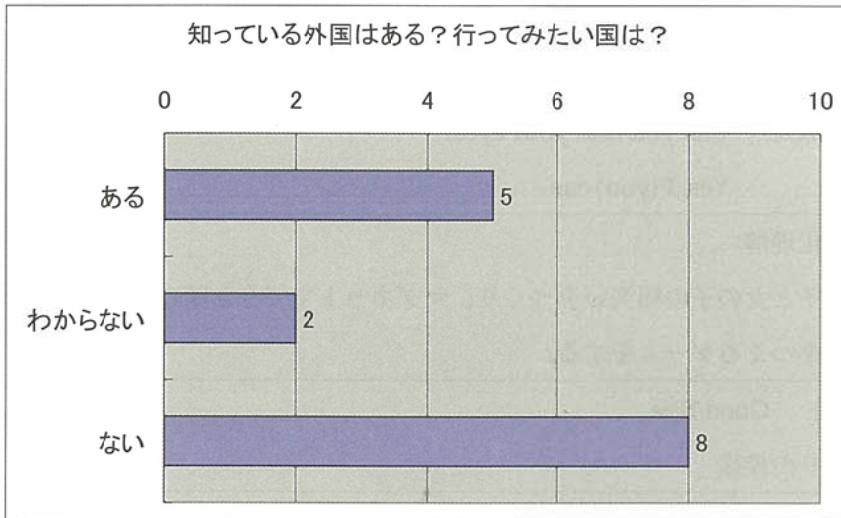
2冊めに選んだ *Is This My Nose?* は、子供たちに自分の顔の中の目や鼻や口といったパーツを探させる絵本である。これによって顔の部位を表す基本的な英単語が学習できるようになっているが、出てくる子供たちの顔がさまざまな髪や肌をしており、どの子供にも同じように目や鼻や口があることがわかる。最後のページのみが鏡になっており、読者は最後に自分の顔をミラーに映して、自分の顔の目や鼻を確認する仕掛けになっている。

#### アンケート

以下に、年度末に行われた保護者懇談会におけるアンケートおよび園児を対象としたインタビューの結果を示す。

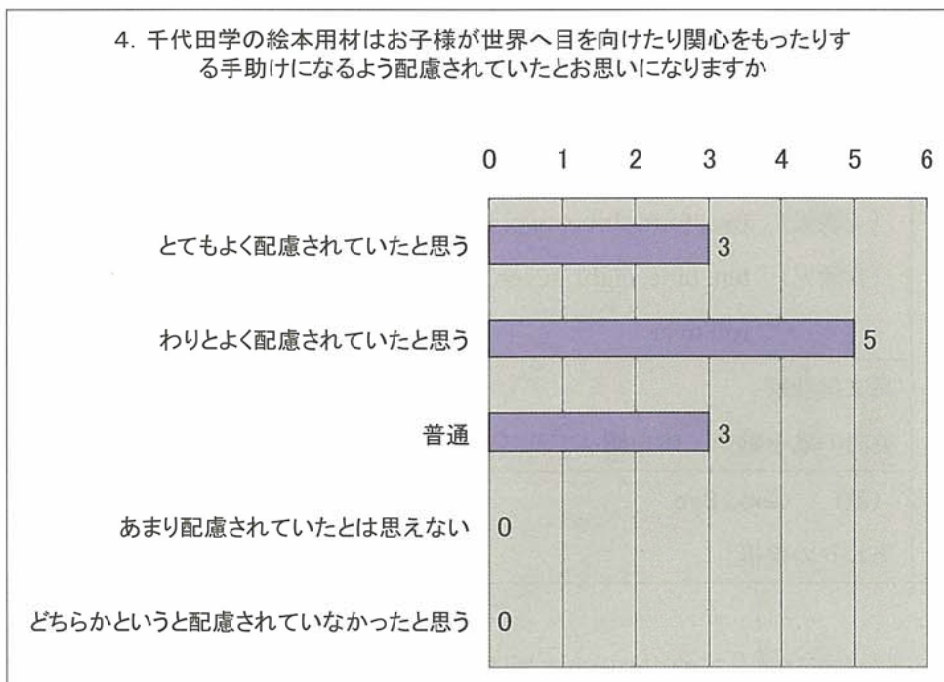
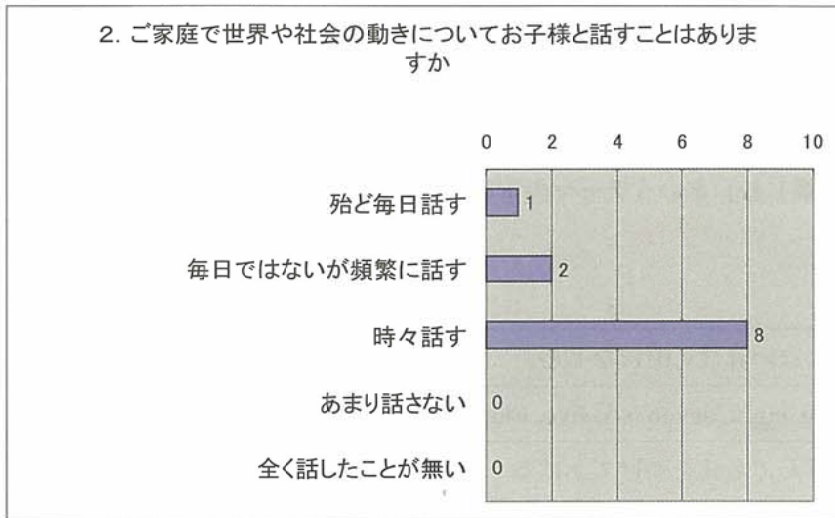


<園児インタビュー>



積極的に外国に行ってみようという幼児はあまり多くはなかったが、ほとんどの幼稚園児が、外国の子供と友達になってみたいと答えた。

<保護者懇談会>



ほとんどの保護者が、家庭内の会話の中で、世界の動きや出来事について話をする答えている。話題はやはり、アメリカ大統領選や、北京オリンピックのことが多かったようだ。

また、大多数の保護者が、千代田学でセレクトされたテキストが、子供の国際性を養うために配慮されていたと答えている。

## 2.2 英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ

10月、11月に行われた、第4回、5回の英語活動がこの「英語独特の音のリズムを体感する・異質なものを受容し異文化に親しむ」というテーマの下に行われた。指導案は次の通りである。

### 第4回

テーマ	日本語にない音 [f,v,θ] になじむ。
表現	Ten, nine, eight, seven, six, five, four, three, two, one
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる 基本的な挨拶表現 Hello, Good morning, How are you? (歌) Good Morning
	絵本の読み聞かせ  <i>There Were Ten in the Bed.</i>
	表現練習 (4歳児) five, four, three, two, one (5歳児) ten, nine, eight, seven, six, five, four, three, two, one roll over
	異文化理解 英語の歌を歌い、体を使ってリズムを体感する。
	(歌) Good Bye
	終わりの挨拶

犬が一匹ずつベッドから転げ落ちてゆくという大変にポピュラーな歌で、落ちるものには、ソーセージやサルなど様々なバリエーションがある。

英語活動の中に歌を取り入れることは、子どもたちが英語の音に親しむのに大いに役立つ。歌はくりかえし聞いているうちに自然にくちさむようになり、インプットだけでなくアウトプットとしても英語の音に触れることになり、その意味において大変重要である。この歌の歌詞は、まだあまり英語になじみのない園児にとっては、すべての部分を歌うには難しいが、1匹が転げ

落ちるごとに“roll over”ということばが繰り返され、この部分を繰り返すだけでも、[r,v]という日本語に無い音が含まれているため、大変良い効果が期待できる。

日本語にない英語の子音[f,v,θ]については、小学校の高学年や中学生になると、ネイティブの真似をすることに抵抗を持つ子どもが多いが、幼稚園の年中、年長までであれば、指導者の口元を真似するよう仕向けることにより、かなりの程度、本来の発音に近い音を出すことが期待できる。ネイティブの子どもであっても、これらの音を習得するのは5,6歳といわれており、まさに幼稚園児のときに触れることが望ましい音であるといえよう。

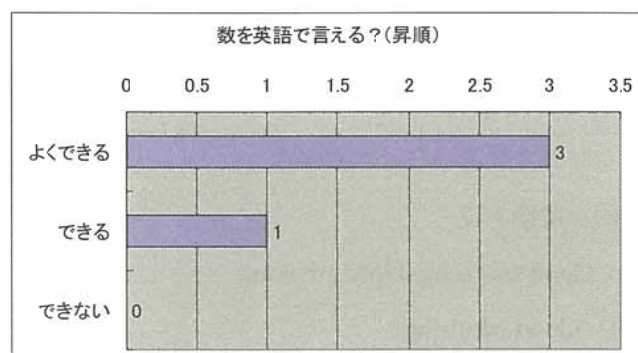
この歌はカウントダウンになっていて幼稚園児にはかなり難しい。事実、多くの子どもたちが昇順に英語で数えることは容易に出来るものの、降順に言わせるとほとんど出来ない。カウントダウンする機会は日常にはあまりないため、実際の指導ではロケットのカウントダウンを使って、「〇〇ちゃんロケットを飛ばそう！」という設定で、全員でくりかえしカウントダウンを行った。年中組は4, 5歳児で、カウントダウンに先立ち、一人ずつに年齢を聞いて four と five の発音を意識させた。この中にターゲットの[f,v]がくりかえし出てくるため、一人ずつに年齢を聞き、[f,v]に注意しながら繰り返して年齢を言わせた。ついでthreeで[θ]を導入し、その上でカウントダウンを行い、発音になれるようにした。

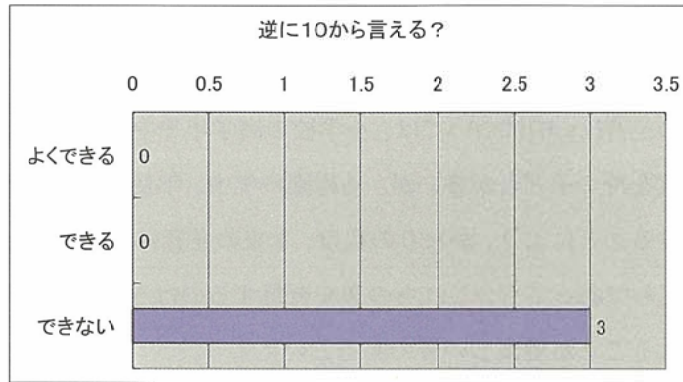
年長組ではマットを使用し、ベッドに見立てて歌に合わせて一人ずつが転がり落ちるといった活動も行った。

#### アンケート

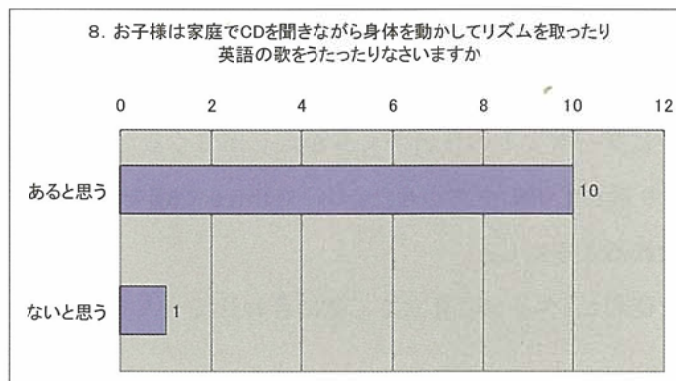
以下に、年度末に行われた保護者懇談会におけるアンケートおよび園児を対象としたインタビューの結果を示す。

#### <園児インタビュー>





<保護者懇談会>



上のアンケートからわかるように、ほとんどの子供は英語のリズムや歌に反応している。意味がわかるかどうかなどと難しいことを考えず、聞こえた音に素直に反応するという体験は、今後の英語との付き合いにおいて重要であると思われる。

第5回

テーマ	英語のリズム、頭韻、脚韻にしたしむ。
表現	Each Peach Pear Plum
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる 基本的な挨拶表現 Hello, Good morning, How are you? (歌) Good Morning
	絵本の読み聞かせ

	<i>Each Peach Pear Plum</i>
	表現練習 (4歳児) Each peach pear plum (5歳児) Each peach pear plum. I spy ....
	異文化理解 日本語とは異なる英語のリズムや頭韻、脚韻に親しむ。 Mother goose などに出てくるおとぎばなしの主人公に親しむ。
	(歌) Good Bye 終わりの挨拶

本のタイトルから分かるように、韻をふんだんに導入している。日本語でも谷川俊太郎氏の本のように、韻を楽しむものがあるが、現代においてはあまり一般的ではない。英語ではポップスの歌でも自然に取り入れられるくらいごく日常的なものである。一般的には脚韻が多いが、頭韻を踏ませることも英語の伝統のひとつであり、言葉遊びとして楽しみながら英語の音になじむのに大変ふさわしい本である。

また英語のリズムや音節の感覚を身につけるのにも大変よい本である。たとえばタイトルは日本語にすると「イーチ、ピーチ、ペアー、プラム」と3モーラの連続であるが、英語では [i:ʃ pi:ʃ peə plʌm] といずれも1音節の連続である。このモーラと音節の違いを体感させるために、1つ1つの単語を言うときに手をたたかせ、この4語で4拍のリズムであることを体感させた。

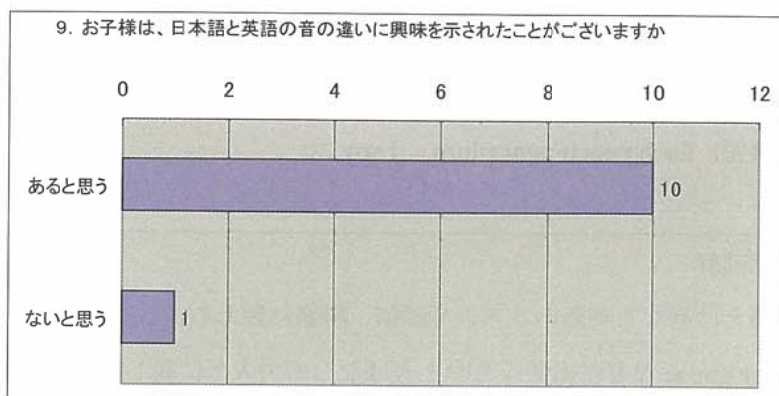
とくに意味を考えることもなく、くりかえし手をたたきながら“Each peach pear plum”を繰り返すことでかなり英語のリズムに親しみを持つことが出来ると思われる。英語＝難しい、という枠をはずし、「英語を楽しむ」という体験を幼児期にしておくことは、将来本格的に英語の学習に取り組まなければならなくなったときに、きっと大きな支えになってくれるものと考えられる。

#### アンケート

以下に、年度末に行われた保護者懇談会におけるアンケートの結果を示す。



<保護者懇談会>



懇談会の席上の保護者の話からは、単に日英語の音の違いだけではなく、英語とそのほかの外国語との音の違いにも気づき、保護者に何語であるか尋ねたり、英語とは違うね、とコメントしたりすることがあるようである。音を通して、世界中には色々な言葉があることを体感できることは、とても貴重な経験であり、園児の世界を広げ、さまざまな言語、文化に対する興味を欠きたてることにつながっている。

## 2.3 社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする

第3回、第6回という各々の学期の最後に「社会の基本ルールやマナーを学ぶ・コミュニケーション能力を豊かにする」をテーマに活動を行った。指導案は以下のとおりである。

### 第3回

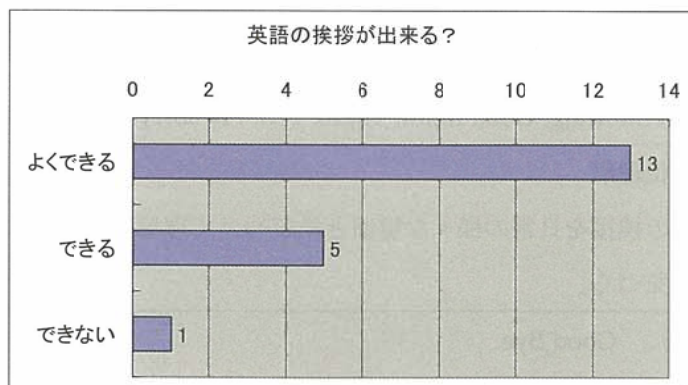
テーマ	様々な場面での挨拶を覚える。
表現	No, thank you. Excuse me. Yes, please. I'm sorry. Thank you. Good night! I love you. What do you say?
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる 基本的な挨拶表現 Hello, Good morning, How are you? (歌) Good Morning

	絵本の読み聞かせ <i>Excuse me.</i>
	表現練習 Good morning. Good night. Thank you. I'm sorry.
	異文化理解 英語の挨拶を日常の様々な場面と結びつけて理解し、文化による挨拶の違いに気づく。
	(歌) Good Bye 終わりの挨拶

ページを開くと、左右のページにお母さんが娘に「朝食にお豆はどう？」(左ページ)と山盛りのグリンピースを勧め、娘は腕組みをして口も目もつぶっている絵(右ページ)が描かれている。右ページの下に *What do you say?* とあり、そのページをポップアップのように上にめくり上げると *No, thank you.* と娘が答えている絵が登場する。このようにして、「げっぷをしたとき」「背中に隠されたプレゼントを見たいとき」「妹のおもちゃを取り上げて壊してしまったとき」「おばあちゃんに子犬をもらったとき」「寝るときに父母がベッドサイドに寄り添ってきてくれたとき」の場面ごとに、*Excuse me! / Yes, please! / I'm sorry! / Thank you! / Good Night! / I love you!* の表現が示される。子供たちは絵を見ながらそのシチュエーションを自分の経験になぞらえて、時には絵の中の子どもと同じジェスチャーをしながら口にしていった。字を読むのではなく絵を見て、こんな時はこういう風に言うのか、ということを経験を介さずに反射的に反応し言えるようになるのがとても早く、驚かされた。子供たちへの聞き取りでも、あいさつや「ありがとう/ 結構です」の習得はとても高く、時間が経っても忘れていないことが伺える。



<園児インタビュー>



上図は、子ども達のインタビューの結果である。かなり多くの子ども達のごく自然に英語で挨拶を出来るようになっていることが分かる。

第6回の指導案は以下のとおりである。

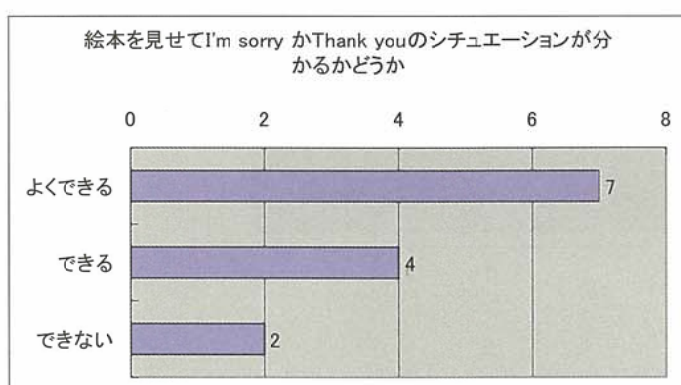
第6回

テーマ	命令の言い方になれる
表現	Sit down. Raise your hand. Pay attention. Wait your turn. Good job.
英語活動の流れ	名前を呼んで名札をつけてあげる 基本的な挨拶表現 Hello, Good morning, How are you? (歌) Good Morning
	絵本の読み聞かせ <i>David Goes to School.</i>
	表現練習 Sit down. Stand up. Good job.
	異文化理解 文化を越えて子ども達が日常的に受ける大人からの注意の表現を通して、 国が違っても多くの共通点があることに気づく。
	(歌) Good Bye
	終わりの挨拶

今回は 5 歳児の 4 月の小学校入学を意識し、学校生活の雰囲気を感じさせながら楽しめる本を選んだ。〔主人公の David は、教室に入るのが遅れる、立ち歩く、チューインガムをかむ、授業中挙手をしない、汚い手で友だちを触ろうとする、先生の話に集中せずぼーっと外を見ている、給食時列に並ばない、騒音を立てる、など迷惑な行為をしでかし、挙句の果てに机に落書きをする。先生はその都度 No, David ! と声をかけ、Sit down, / Don't chew gum in class! / Raise your hand / Keep your hands / Pay attention / Wait your turn と注意をする。机に落書きをした David は、クラス全員の机を磨き上げるまで居残りを命じられるが、きれいにしたところで先生に（初めて！）ほめられ - Good job, David ! - 元気に下校する。〕子供たちは身に覚えのあることばかりの出来事に歓声を上げ、また日頃自分が言われることもあるが、誰かに言ってみたい表現ばかりということもあって、元気に No, David! と声を上げていた。この絵本は姉妹本の翻訳もあるので、先にそちらから知っていた子供たちも多く、特に楽しかったようだ。

4 歳児にはまだ場面、表現に難しいものがあると思われたので、こちらはクリスマスのゲームの中で stand up / sit down に特化して行った。輪になって We Wish A Merry Christmas を流しながらみんなが歩き、リーダーになった子どもに好きなところで Sit down の声をかけさせる。またリーダーを交代して、その子が Stand up と言ったら、曲が始まり、みんなが歩き出す。全員がリーダーになる頃にはこの表現を生き生きと口にしているようであった。

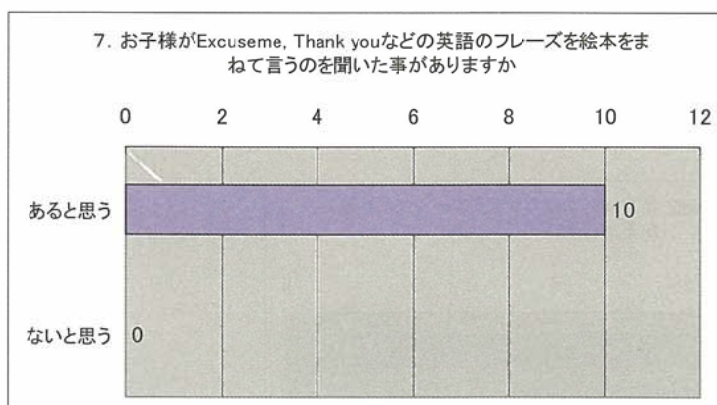
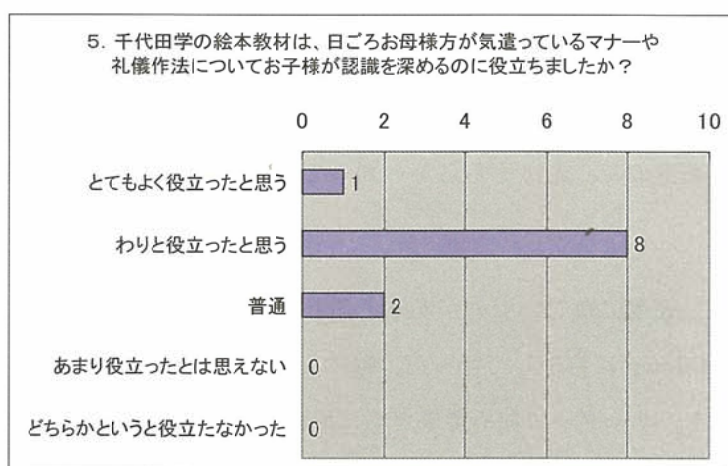
#### <園児インタビュー>



上図にも示されている通り、子供たちは絵本を通して英語の挨拶をするシチュエーションを正確に理解していることが分かる。

保護者へのアンケートや子供たちへの聞き取りでもわかるように、社会の中で必要な決まり文句、ルールにあわせた行動は、何も英語の世界だけにかかわるものではない。当然日本語の中でも必要なことであるので、それぞれの表現を意識しつつも、強制されるのではなく子供たちが楽しんで身につけていければ良いと思われる。

<保護者懇談会>



保護者に対するインタビューからは、絵本の表現を日常生活の中で頻繁に使っている園児もいることが分かる。面白がって絵本の中の表現を使うことで、英語や異文化に対する興味を持ち、将来において幅広く異なったものを受け入れる素地をつくってゆくことが出来ると思う。

### 3 大学と地域の連携による、 次世代育成支援



### 3. 大学と地域の連携による、次世代育成支援

#### 3.1 千代田学主催イベント

千代田学レクチャーシリーズ V

平成18年度より、毎年開催している「千代田学レクチャーシリーズ」も今年度で5回目となりました。今年度は、10月24日に「日本と英国の子育て比較：驚きの発見！ここが違います」と題して、英国在住歴25年にのぼり、現在英国レスターにあるレスター大聖堂音楽監督の奥様として英国に住まわれ、2人のお子様をその間に育てられたグレゴリー・与子美氏を招いて、日本と英国の



子育ての違いや共通点等を身をもって体験なされた事柄をもとに講演して頂きました。講演会には、区内の幼児の保護者や、区内に勤務する社会人、大妻女子大学の学生など約150名が参加。グレゴリー・与子美氏が子育てを通して見聞した英国社会の文化と日本の子育て事情との差を映像を使いながら英語と日本語とで優しくお話をくださいました。それにより、日英の子育てを比較でき、その違いに聴衆は興味深く聞き入りました。

#### レクチャーシリーズ「日本と英国の子育て比較」に参加して

武田道子

育児にもそれぞれのお国ぶりがあることはこれまで見聞きしておりましたが、英国の社会構造・家庭環境などの背景についてお話を伺ううちに、「階層」によって育児のプロフェッショナルが段階的に存在することを初めて知りました。各家庭の社会的な、また経済的地位にふさわしい育児の専門家に我が子を託すことができるのです。育児のプロも序列化されることになりませんが、それだけに職業として報われ、身分として安定する高度の専門教育に邁進することになるそうです。

英国でお仕事を続けられた後、御結婚、そしてお二人のお子様を育てられ、二人共成人しておられるという、ご自身の体験からのお話は、英語や、時に日本語で同じことを分かりやすく語りかけながら進められました。映像でベビーベッドや乳母車などを成長過程に沿って説明して下さい

り、実物の縫いぐるみや工夫された絵本なども紹介して下さいました。生き生きと幼児に対する  
いとおしさが伝わり、子供の成長過程で与えられる環境や機会について考える、貴重なひととき  
をいただきました。心から感謝申し上げます。

### 3.2 千代田学協賛イベント

今年度は、大妻学院創立100周年記念事業、及び UK-Japan 2008 の公式イベントという、  
さまざまな催し物が行われました。これらはみな千代田学協賛イベントとして、千代田区民、ま  
たは在勤・在学の人々に広く例年どおり無料開放されました。

平成20年6月7日

英国大使館・大妻学院共催

英国大使館合唱団コンサート

場所： 大妻女子大学大妻講堂

時間： 18:00 開演 (17:30 開場)

本年度の英国大使館合唱団コンサートは、  
UK-Japan2008 の公認イベントとして位置付けられま  
した。従いまして、合唱曲の内容は、現代の英国の紹  
介という目的に沿ったものとなり、通常の英国大使館

合唱団コンサートと趣きが違っておりました。現代に生きている作曲家の作品を多くとりあげてい  
ました。それは、UK-Japan2008のキーワードの3つの"C"—Creativity, Contemporary, Collaboration  
によるものであります。

主催：大妻学院・英国大使館合唱団

協賛：大妻女子大学千代田学

広報：英国大使館プレスリリース、東京ケーブルネットワーク、

大妻女子大学

ホームページ参加人数：500名



平成 20 年 7 月 10 日

ランチタイムコンサート in サマー

大妻女子大学山田流箏曲部・オックスフォード大学合唱団

場所： 大妻講堂

時間： 12:20 - 12:50

平成 20 年 7 月 11 日

オックスフォード大学合唱団コンサート

場所： 大妻講堂

時間： 18:00 開演 (17:30 開場)

オックスフォード大学合唱団コンサートは、UK-Japan2008 の公認イベントのひとつとして、オックスフォード大学ハートフォードカレッジのクワイヤーを英国より招いて実施されました。オックスフォード大学ハートフォードカレッジの大学生17名は、少人数ながらその音量と芸術性は CD を発売したり、世界各国へ演奏旅行に行っているだけあってプロ級のものでありました。合唱曲の内容は、現代の英国の紹介という目的に沿い、現代の作曲家の作品をとりあげたり、また伝統的な合唱曲を披露しました。オックスフォード大学ハートフォードカレッジ合唱団コンサートは、UK-Japan2008 のキーワードの 3 つの“C”—Creativity, Contemporary, Collaboration という日英の緊密な関係とともに、大妻女子大学とオックスフォード大学ハートフォードカレッジとのパートナーシップの親密さの体現でもありました。大妻女子大学の創立100周年という記念の年(2008年)を祝い、オックスフォード大学ハートフォードカレッジと大妻学院共催で行なわれた催しでもありました。このコンサートに参加した聴衆は英国の大学生の若々しい音楽に心を打たれていました。

主催：大妻学院・オックスフォード大学ハートフォードカレッジ

協賛：英国大使館、大妻女子大学千代田学

広報：英国大使館プレスリリース、東京ケーブルネットワーク、大妻女子大学ホームページ、

オックスフォード大学ハートフォードカレッジ広報紙

参加人数：250名





平成 21 年 9 月 17 日

大妻学院 100 周年記念

パイプオルガンコンサート

オルガニスト： ジョナサン・グレゴリー

場所： 大妻講堂

時間： 18:00 開演 (17:30 開場)

英国音楽院メンバー、レスター大聖堂音楽総監督であるオルガニスト、Jonathon Gregory 氏の演奏によるパイプオルガンコンサートは、UK-Japan2008 の公認イベントのひとつとして、また大妻学院 100 周年記念事業として催されたものです。英国の現代作家のオルガン曲、日本の伝統的オルガン曲、世界各国の伝統的オルガン曲等の編成で行われました。その繊細な音、様々な音色による多彩な演奏に聴衆はパイプオルガンの魅力を初めて知り、深い感銘を受けました。最後に Gregory 氏の御子息による、バイオリンの演奏にも心を打たれました。

主催：大妻学院

協賛：英国大使館、大妻女子大学千代田学

広報：英国大使館プレスリリース、東京ケーブルネットワーク、大妻女子大学ホームページ

参加人数：250名

平成 20 年 10 月 24 日

大妻女子大学・オックスフォード大学記念シンポジウム

「激動の時代を生きる日英の女性たち」

司会：廣瀬友久（大妻女子大学短期大学部教授）

講師：後藤祥子（日本女子大学学長・名誉教授）

Julie Dearden（オックスフォード大学ハートフォードカレッジ EFL ディレクター）

Yvette Dearden

金谷喜子（大妻女子大学短期大学部教授）

井上美沙子（大妻女子大学短期大学部教授）



場所：大妻女子大学 A 棟 366 教室

時間：17:30 - 19:30

「激動の時代を生きる日英の女性達」は、UK-Japan2008 の公認イベントのひとつとして、また大妻学院 100 周年記念事業として催されたものです。英国の現代作家 Margaret Forster が描いた *Diary of an Ordinary Woman* という小説作品の中の女性が激動の 20 世紀を生き抜いた姿と、大妻学院の創設者大妻コタカについて2名の大妻女子大学教授に論じてもらい、また現代を生きる日本女子大学学長・後藤祥子先生、オックスフォード大学ハートフォードカレッジの国際英語教育ディレクターJulie Dearden 氏とその妹さんを英国より招いて、それぞれの方の現代を生きる姿を活写して頂きました。どんな時代にあっても、女性が前向きに生きる姿は日英に差はなく、未来を力強く切り開いていることが認識されました。

主催：大妻学院

協賛：英国大使館、大妻女子大学千代田学

広報：英国大使館プレスリリース、東京ケーブルネットワーク、大妻女子大学ホームページ

参加人数：100名

## ひびき合う日英の女性たち（シンポジウムに参加して）

斉藤恵子（大妻女子大学比較文化学部教授）

大妻学院創立100周年記念行事のひとつとして、「激動の時代を生きる日英の女性たち」という、大妻女子大学・オックスフォード大学記念シンポジウムに出席させていただいた。表題を見ただけでも、興味をそそられたが、とても面白いシンポジウムだった。日本の女性たちの代表としてコタカ先生の大妻女子大学と、日本女子大学の組み合わせが興味深かった。私立女子大学のトップを走る大学として、津田塾大学や東京女子大学よりも、学風や教育内容から日本女子大学は大妻女子大学に近いものがあるように思う。日本女子大学の多彩な卒業生の活躍ぶりや、卒業生への再教育の取り組みなど、ぜひ、小冊子にまとめていただき、シンポジウムに参加できなかった人たちにも読んでもらいたい。大妻にとって参考になることが多いように思える。

イギリスの女性達として、オックスフォード大学ハートフォードカレッジの Julie Dearden さんが妹さんの Yvette さんと参加してくださって嬉しかった。大妻女子大学の文化と短大英文の海外研修先のディレクターとして、Julie さんには、そのお人柄、仕事ぶり、特に四人のお子さんの母として、仕事と家庭を上手に両立させておられる様子を常々感服していたからである。このご姉妹の活躍の軌跡もぜひ活字にさせていただき、参加できなかった人達に読む機会があったらと願う。

私達の学祖大妻コタカ先生に親しく教えを受けられた金谷先生のお話を伺って、あらためてこの

100年の大妻学院の歩みは激動の時代に流されず、地に足をしっかりとつけた女性の着実さをあらわしているように思えた。そしてその歩みは、20世紀の100年近くを生きた Margaret Forster の作品の主人公の姿といろいろな意味で重なっているのを実感した。Margaret Forster の小説の主人公は、まさに二十世紀を生きた女性であった。このシンポジウムを思い出しながらゆっくりと読むのを楽しみにしている。

### 3.3 千代田学後援イベント

本年度は、大妻女子大学人間生活文化研究所の研究プロジェクト「家庭における『異文化意識』育成のための、幼稚園児の保護者を対象とした英語の学び直しプログラム—小学校英語必修化を大学と家庭からサポート」の主催するワークショップや講演会を後援することで、これらのイベントに区民参加への道を開きました。このプロジェクトは、千代田学の事業プロジェクトと似ていますが、千代田学が幼児を対象にしているのに対し、こちらはその保護者を対象にしているところが、大きく異なります。

平成 21 年 2 月 14 日

英語で遊ぼう！ 親子で親しむ英語の絵本と歌 I & II

大妻女子大学幼児英語活動ワークショップ

講師：フィリッパ・ウッド（英国大使館書記官夫人）

マーガレット・グラント

（朝日カルチャーセンター東京 英語講師）

場所：大妻女子大学 A 棟 366 教室

時間：10:30 - 12:30



英語で遊ぼう! 親子で親しむ英語の絵本と歌 I & II は、区内及び、近くに住む幼児と保護者を対象として行ったワークショップで、その様子をこの事柄に関心のある聴衆に見学して頂き、最後に質疑応答の時間を取ってなされたものです。講師に、現在3人の幼児を子育て中の英国大使館書記官の夫人で、英国と日本の学校で英語とドイツ語を教えた経験のある、Philippa Wood 氏と、大学で幼児教育法を学び、現在日本の幼稚園や、朝日カルチャーセンターでも英語を指導している Margaret Grant 氏にお願いしました。

平成 21 年 3 月 18 日

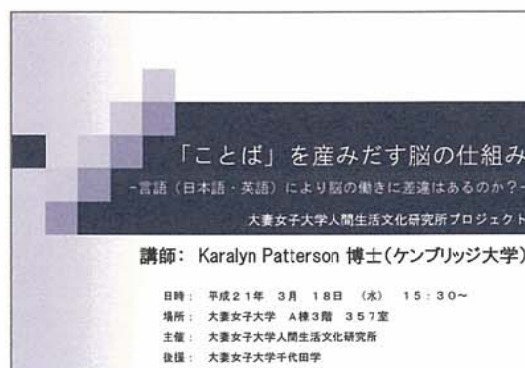
大妻女子大学人間生活文化研究所プロジェクト

「ことばを生み出す脳の仕組み」

講師：カラリン・パターソン博士(ケンブリッジ大学)

場所：大妻女子大学 A 棟 357 教室

時間：15:30 -17:00



医学的に頭脳と言語、記憶、認知症等とのかかわりをライフワークにしているケンブリッジ大学のパターソン博士の来日に合わせて学術講演会を行いました。ここでは約60名の学内外大学関係者、研究者、一般人、大妻学院関係者の出席の下、日英での類似した脳疾患患者を被験者として行った読解テストのデータを基に、日本語と英語の違いや、脳と言語システムの関係などについて博士の興味深い講演と、活発な質疑応答がなされ、実りある国際学術講演会となりました。

付 録

## 付録

〈保護者懇談会におけるアンケート結果〉

1. お子様は、何組でいらっしゃいますか。

a	1組(ばら、年中)	8
b	2組(ひまわり、年長)	3

2. ご家庭で世界や社会の動きについてお子様と話すことはありますか。

a	殆ど毎日話す	1
b	毎日ではないが頻繁に話す	2
c	時々話す	8
d	あまり話さない	0
e	全く話したことが無い	0

3. 2で abc のどれかに○をつけた方にお伺いします。具体的に例えばどのようなこととお話しされましたか。

ニュースを見て「あの人がオバマさん？」とか聞いてきます

アメリカの大統領はどうやってえられたのか

オリンピック・オバマ大統領・ワールドカップ予選などスポーツに関することが多いかと思えます

地球温暖化について世界の人が全て一人一人関心を持って自分が出来る事から取り組む必要性があること

バラク・オバマがテレビに出てくるとよく名前が出てきます

国旗が今大好きなので世界の国の話をよくします

オリンピック、事件等の報道

ニュースの内容によってですが、矢張りオバマ大統領は毎日 TV に何回も出ていたので良く話していました

オバマ大統領(2)

TV で国旗が出るたびに克明とか場所とかを話す

イスラエルの空爆

4. 千代田学の絵本用材はお子様の世界へ目を向けたり関心をもったりする手助けになるよう配慮されていたとお思いになりますか。

a	とてもよく配慮されていたと思う	3
b	わりとよく配慮されていたと思う	5
c	普通	3
d	あまり配慮されていたとは思えない	0
e	どちらかという配慮されていなかったと思う	0

5. 千代田学の絵本教材は、日ごろお母様方が気遣っているマナーや礼儀作法についてお子様が認識を深めるのに役立ちましたか。

a	とてもよく役立ったと思う	1
b	わりと役立ったと思う	8
c	普通	2
d	あまり役立ったとは思えない	0
e	どちらかという役立たなかった	0

6. 5で abc のどれかに○をつけた方にお伺いします。具体的な例があればお教え下さい。

お礼を言ったりするのはマナーのひとつであるということなど  
 日本ではそうでもないがゲップはアメリカなどではとても失礼だと言う事など  
 挨拶とお礼をきちんと言う事を心がけています  
 挨拶。そういう行動をしたとき人(相手)はどう思うか・・・など他人の立場で考える事  
 寝るときは必ず“Good night”と言って寝ます。ゲップやおならをした後も“Excuse me”と言っています  
 日本でも外国でも基本的なマナーは同じだと分かってきたと思います  
 食事中にゲップしたら“Excuse me”と言う。 Thank you は結構使っています  
 朝は Good morning, 昼は Good afternoon のように英語で言うフレーズを確認してくる事があります

7. お子様は Excuse me, Thank you などの英語のフレーズを絵本をまねて言うのを聞いた事がありますか。

a	あると思う	10
b	ないと思う	0

8. お子様は家庭で CD を聞きながら身体を動かしてリズムを取ったり英語の歌をうたったりなさいますか。  
 またはそうするのを見たことがございますか。

a	あると思う	10
b	ないと思う	1

9. お子様は、日本語と英語の音の違いに興味を示されたことがございますか。

a	あると思う	10
b	ないと思う	1

10. 9で a と答えた方にお伺いします。具体的な例があればお教え下さい。

TV の BGM で流れている曲を聞くと「この歌はアメリカ？それともイギリス？」と聞いてきます  
 フランス語と英語と似てるのに何で日本語は似てないのか  
 違う国に住んでいるとどうして言葉が違うのか  
 日本の人は英語の勉強をしているのに何で外国の人は日本に来てても日本語で話さないか  
 英語に限らず韓国語や中国語を話している人を「違う言葉を話している！」と言うような顔で見ていること  
 があります  
 (続き)「何語？」と聞かれる事もあります  
 日本語英語以外の言語であった場合「何語？」と聞く  
 英語だけでなく中国語とかフランス語とか外国語を耳にすると何語か聞いてきます  
 意味が完全に理解できないような英語で流れる TV も見たがることもある  
 TV などで外国人が話している単語などをまねていたりします  
 耳にする外国語の意味を度々聞かれる  
 町で外国人が話をしていると「アメリカ人だよ」と聞かれる事がよくあります  
 街ですれ違う外国人に“How are you?”という

その他

CD は本にしまえる形のほうがバラバラにならなくていいと思いました  
 難しい単語も絵本を通してすんなりと入ってくるらしく、意味も理解している事に驚きました  
 千代田学がスタートする 4 月頃に一度千代田学の先生方のお話を聞く機会があると親も意識して

子どもともっと取り組みそうです

歌が好きなので歌の CD が好きでした。もう少し聞きやすい CD だと歌を覚えられるかな？と思います  
生活の中で使うフレーズはずいぶん楽しみました。突然巻き舌でなにやら言うのでびっくりする時もあります  
楽しく親しめてよかったです

千代田学になじんできたようで千代田学の会った日には教わってきた事を話すようになりました  
クリスマスソングを教えていただいた時はとても気に入ったようで妹に教えたり、町でその曲を聞くと一緒に  
歌ったりしていました

今年度は私の都合であまり時間をかけて上げられなかったことを反省しております。子供が一人で絵本を  
見ていたりしても一緒に CD をかけて聞いてあげられませんでした

先生が優しく接して下さるようで安心して千代田学に臨んでいるように感じます

本人も昨年より前向きな気持ちでいるようです

毎回ご配慮された絵本選びに厚く御礼申し上げます。今後も子供の英語教育に活用させていただきます  
来年度も行われることを願います

可能であれば先生方が子供たちに教えているところを参観させていただければ家での学習の参考に  
なります。一年間有難うございました